



議会だより

No. 131

発行：静岡県駿東郡小山町議会

# おやま 町議会



▲ 田んぼアート 7月9日現在の様子



▲ 田んぼアートの田植え風景



▲ 7月13日開催 小山町子ども議会



▲ 議場で発言する子ども議員

— 町制施行100周年記念事業に議会として参加しています —

6月  
定例会

- 町営住宅滞納者への法的措置 ..... 2
- 町政のここが聞きたい 一般質問に9人 ..... 4
- 田んぼアート ..... 13
- 子ども議会 ..... 14
- 研修報告、私の望み ..... 18

## 6月定例会

平成24年第2回6月定例会が5月31日から6月15日まで、会期を16日間として開催されました。  
今定例会には当局から、条例の一部改正、予算継続費繰越計算書、予算繰越明許費繰越計算書及び予算事故繰越繰越計算書の報告、一般会計補正予算など11議案と議会から意見書の1議案、合計12議案が提出され、審議の結果、いずれも原案どおり可決しました。

### 小山町印鑑条例等の一部を改正

#### 主な改正内容

印鑑条例の主な改正内容は、漢字圏の外国人については、通称を用いた印鑑の登録が可能となり、また、非漢字圏の外国人については、住民票の備考欄に記載されている氏名の片かな表記又はその一部を組み合わされている印鑑の登録が可能になります。  
※全員賛成で可決しました。

### 小山町税条例の一部を改正する条例

#### 主な改正内容

住民税については、公的

年金等に係る所得以外の所得を有しなかった者が寡婦(寡夫)控除を受けようとする場合の申告書の提出が不要となりました。  
固定資産税については、本年度が評価替えの年になるため、負担調整措置の期間が延長となりました。負担調整措置は、原則として、現行の仕組みを平成24年度から平成26年度までの3年間延長し、特例割合1/6等の住宅用地特例も現行を継続することとなりました。その中で、不公平是正の観点から、住宅用地に係る措置特例を経過的な措置を講じた上で、平成26年度までに段階的に廃止することになりました。  
※全員賛成で承認しました。

### 小山町国民健康保険税条例の一部を改正する条例

#### 主な改正内容

今回の改正は、東日本大震災により家屋を滅失したことから、居住することのできなくなった場合、その居住用家屋の敷地の用に供されていた土地を譲渡した場合、改正前は、災害があった日から3年を経過する日の属する年の12月31日までに譲渡する場合に相税特別措置法に規定する特例を受けることができましたが、改正後においては、災害にあった日から7年を経過する日の属する年の12月31日までの期間に延長となりました。

### 一般会計予算継続費繰越計算書の報告

平成24年度へ過次繰り越しをした額は、須走小学校放課後児童クラブ施設建設事業については、143万円、須走小学校屋内体育施設建設事業については、5,741万円、小山中学校改築事業については、2億8,110万円です。  
※その他、2件の報告案件がありました。

### 基地対策予算の増額等を求める意見書の発議

小山町議会は、国に対して、基地関係市町村の実情に配慮して基地交付金等の増額等を求める意見書を提出することを、全員賛成で可決しました。

### 町営住宅明け渡し請求及び滞納使用料支払い請求の訴えの提起 2件

収入があるにもかかわらず町営住宅使用料を滞納している2人に対する町営住宅の明け渡しと滞納使用料の支払いについて法的措置をとることになりました。

町の再三にわたる督促にもかかわらず、未払いの状況

況は改善されませんでした。そのため、被告となるべき者に、町営住宅の明け渡し及び滞納使用料等の支払いを請求しました。しかしながら、指定期限までに明渡し及び滞納使用料等の支払い請求に応じなかったため、町営住宅明け渡し請求及び滞納使用料支払い請求の訴えを提起することになったものです。  
※全員賛成で承認しました。



▲平成24年3月14日に落成した須走小学校の新体育館

**補正  
予算**

# 生土不老山地区の町有林に 2千300万円を限度額とし、 債務負担行為を設定



▲ 森林整備が進められる生土不老山地区の町有林

一般会計補正予算は、既定の予算総額に歳入歳出それぞれ1億1千514万4千円を増額し、予算総額を78億8千14万4千円とすることを全員賛成で可決しました。

生土不老山地区の町有林について、防災や環境面を考慮した健全な森林育成に努めるため、周辺の森林所有者と連携して、平成25年度から平成28年度までの4年間で、2千300万円を限度額とし森林整備していくため、債務負担行為を設定するものです。

**歳入の主なもの**

**特別対策**

**事業補助金**

3千203万9千円

スコリア（火山灰）土壌の流出軽減のための整備事業と、地域商業活性化宅配サービス事業の緊急雇用創出事業に対して、県から100

パーセントの補助をいただくものです。

**綱山五徳会様**

**からの寄付**

163万4千円

北郷地区の地域振興向上のため、一般社団法人綱山五徳会様から、北郷地区の公共施設備品等購入費として寄付をいただくものです。

**歳入の主なもの**

**宅配サービス**

**事業の委託**

1千103万9千円

県の緊急雇用創出事業を活用し、商店街の活性化や高齢者の利便性の向上のため、宅配サービス事業を委託するものです。

**北郷小耐震**

**補強工事等**

3千370万円

実施設計委託の実績にあ



▲ 耐震補強工事予定の北郷小

わせて補正するものです。

**北郷中グラウンド**

**防球フェンス**

**改修工事**

1千200万円

4月2日の暴風により破損したフェンスを改修するものです。

**公共土木**

**災害復旧費**

3千65万円

今年4月30日から5月3日までの降雨により被害を受けた精進川と西沢川の護岸崩壊3か所の測量と工事請負費が主なものです。

※債務負担行為 複数年にわたる債務を負担する行為



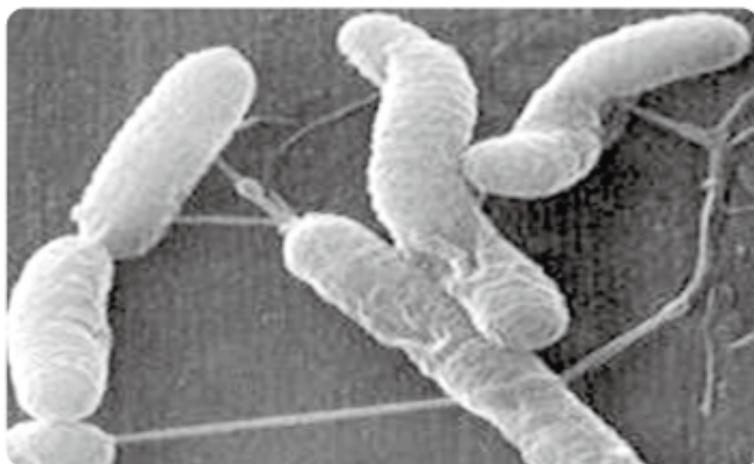
▲ 精進川被災現場

**9月定例会の  
お知らせ**

- ◆ 9月定例会は次のように開催する予定です。
- ◆ 8月28日 町長から提出議案及び平成23年度の決算についての説明、監査委員からの監査結果報告
- ◆ 9月4日 平成23年度決算について質疑
- ◆ 9月6日 一般質問
- ◆ 9月11日 総務建設委員会
- ◆ 9月12日 文教厚生委員会
- ◆ 9月20日 常任委員会委員長の審査報告、質疑、採決

● 一般質問 ●

# 町政のここが聞きたい



▲ヘリコバクター・ピロリ菌（日本消化器病学会の写真より引用）



池谷 洋子

## Q 胃がんの主原因「ピロリ菌」検査の助成を

## A 今後、国、県の動向を注視していきます

1 日本では毎年、約5万人が胃がんで死亡しています。主な原因は2人に1人が胃に持つ「ピロリ菌」と判明しました。除菌により発がんの確率を抑え、死亡率や医療費抑制も期待できます。がんは早期発見が大切です。そのためにも町民も検診を受けています。予防の可能性があるものは積極的に取り組むべきです。

60歳以上では7割から8割といわれています。感染した方が必ず胃がんにかかる訳ではありませんが、除菌治療も行われています。

わからないことから誤解を生じ悩み苦しんでいる人がいます。

Q 町民の命を守る「ピロリ菌」の検査を町の胃がん検診に追加することは？

この治療にはまだ高額な治療費がかかる上、検査方法だけでも複数あることや、検査対象者の設定、実施医療機関、検査後の指導方法等、検討課題も多いため、今後、国、県の動向を注視していきます。

教育現場に「脳脊髄液減少症」の啓発冊子配布は？

A 町長 胃がんの多くはピロリ菌の感染で発生することが明らかになってきており、日本での感染率は20歳から40歳で2割から3割、

2 「脳脊髄液減少症」とは交通事故やスポーツなどで頭部や全身を強打することで脳脊髄液が漏れ、頭痛や倦怠感などの症状を引き起こす病気です。病名が周知されず外見が健常者と変

実際に発症した子ども、事例や子どもや母親からのメッセージ、病気の症状や原因などについてもわかりやすく紹介されている冊子を各学校・園に配布し、病気を理解してもらおうとしています。

一般的に十分に周知されていないが、また症状についても、一般的な症状であることから、医療機関において診断が難しいとされています。

※その他に、公共施設（保育所、幼稚園など）のガラス飛散防止策についての質問がありました。

● 一般質問 ●

# 一般質問に9人の議員が町の方針をただしました



阿部 司

1、平成12年度に開業し、多くの方に利用され、憩いの場として親しまれた「ゆったり湯」が平成22年度末に廃止となりました。現在、町民の多くの方から再開希望があるが、次の点について町の考えを伺います。

**Q** 廃止に至った経緯は。

**A** 町長 利用者数は、平成15年度の10万2千644人を境に、平成22年度は2万9千456人まで減少しました。収支については、平成21年度で町の持ち出し分は約2千万円となりました。このため、行革プロジェクトチームの検討も踏まえ、議会手続きを経て廃止をしました。

**Q** 今後町としてのどのような計画をもっているのか。

**A** 町長 再開が困難であれば、その理由と跡利用をどのように考えているのか。

**Q** 再開を願う声がある一方で、設備修繕、維持管理費に多額の経費を要するなど課題も多くあります。再開も含めてリニューアルなど、あらゆる選択肢を念頭に、関係者のご意見を伺いながら検討していきます。

2、昨年の東日本大震災の後も全国あちこちで様々な災害が発生し、被害を被っております。最近、各種報道がありま

## 健康福祉社会館「ゆったり湯」は

## 再開も含めてリニューアル化など

## あらゆる選択肢を検討していきます

**Q** 当局と自衛隊・消防・警察との連絡調整会議等を開催する用意はあるのか。

**A** 町長 災害が発生したときには、自衛隊、警察、消防の各機関の相協力や機動力等は不可欠です。

**Q** 町では、毎年6月、9月、12月の防災訓練において、各機関へ訓練参加を依頼し、現場レベルでの顔の見える関係を構築しています。連絡調整会議等の開催は、連携が深まることともに、円滑な意思の疎通が期待できることから、今後関係機関と協議し、会議目的

を明確にし、有機的に機能する会の設立について検討



▲「ふじみセンター ゆったり湯」の浴場

● 一般質問 ●



▲ 武道場を建設中の小山中学校



高畑 博行

**Q** 中学校での武道必修化に伴う  
安全指導の徹底を

安全指導の徹底を

**A** 県で作成する柔道授業安全指導手引きを  
参考に町のマニュアルを作成します

参考：町のマニュアルを作成します

1、新学習指導要領の改訂により、中学校で武道が必修化になった。死亡事故の多い柔道の導入に対して安全面で不安視する声が多い。町民や保護者が納得できる安全対策を打ち出す必要があると考える。

①県・町教育委員会  
②町柔道連盟や警察OB  
③柔道の年間指導計画をもとに、準備するように指導しています。

②町柔道連盟や警察OBの方などに授業の補助員をお願いし、10月からの授業に対応できるよう検討します。

③県で作成する柔道授業安全指導手引きを参考に、町のマニュアルを必要に応じて作成します。

**Q** ①県・町教育委員会  
②町柔道連盟や警察OB  
③柔道の年間指導計画をもとに、準備するように指導しています。

**Q** ①県・町教育委員会  
②町柔道連盟や警察OB  
③柔道の年間指導計画をもとに、準備するように指導しています。

②補助指導員の導入は考えていないか？

③安全対応マニュアルの作成の必要性は？

**A** 町長 ①県教育委員会では、中学校武道必修化に伴う静岡県柔道安全指導指針を作成し、体育教員を対象に安全指導研修会を実施しました。町教育委員会では、指針のとおり安全な授業のた

**Q** ①閉鎖後1年間、跡利用をどうしていただけるのか？

②再開の可能性は全くないのか？

週2〜3日でも開けないのか？

③再開しないのなら浴場施設等の改修や、他への利用はどうするのか？

**A** 町長 ①廃止後の会館の3階は、旧湯上り休憩室は集会和室として、またカラオケルームは以前同様に、それぞれ各種団体等が利用しています。旧湯上りラウンジは社会福祉協議会との協働により、本年7月末を目標にボランティアヒーローの開設準備を進めています。浴室は緊急時の家族風呂として、またイベント時用として活用しています。

②③阿部議員への答弁で申し上げたとおり、今後、再開やリニューアル化など、あらゆる選択肢を念頭に検討していきます。

③県で作成する柔道授業安全指導手引きを参考に、町のマニュアルを必要に応じて作成します。

②町柔道連盟や警察OBの方などに授業の補助員をお願いし、10月からの授業に対応できるよう検討します。

①県・町教育委員会  
②町柔道連盟や警察OB  
③柔道の年間指導計画をもとに、準備するように指導しています。

②補助指導員の導入は考えていないか？

③安全対応マニュアルの作成の必要性は？

**A** 町長 ①県教育委員会では、中学校武道必修化に伴う静岡県柔道安全指導指針を作成し、体育教員を対象に安全指導研修会を実施しました。町教育委員会では、指針のとおり安全な授業のた

**Q** ①閉鎖後1年間、跡利用をどうしていただけるのか？

②再開の可能性は全くないのか？

週2〜3日でも開けないのか？

● 一般質問 ●



池谷 弘

Q 鳥獣被害対策は

A 国果市町が連携した対策の

検討を進めています

1、小山町でも電柵の設置や猟友会による有害鳥獣の捕獲を進めていますが、農産物被害は増加の一途です。今後生息環境対策、予防対策、捕獲対策、獣肉利用活用対策等、地域や関係機関を巻き込んだ総合的な対応が必要です。

Q 予防対策等の前記対策の取り組みについて伺います。

A 町長 県の「第3期特定鳥獣保護管理計画」に基づき、課題である国有林や演習場内などの捕獲や処理方法など、国果市町が連携した対策の検討を進めています。

Q 被害防止計画の進捗状況を伺います。

A 町長 猟友会に  
より、イノシシ30頭、ニホンシカ17頭を捕獲し、部農会等の捕獲要請に対応しました。

また、国の補助を活用し、箱ワナの導入、侵入防止柵の設置及び講習会を開催し、被害の防止に努めました。

Q 国果に要望している電柵助成が得られない場合の支援方法について伺います。

A 町長 効果的な対策が進められるよう、鳥獣被害対策総合アドバイザーの育成等を進め、住民の皆様と地域の実情に合った被害防止手法を検討していきます。

2、子供たちが安全安心な農産物を食べながら地域を活性化するためにも学校給食の地産地消を進めていく必要があります。

Q 学校給食の地産地消の取組みについて伺います。

A 町長 学校給食への地場農産物の供給について、米は全て町内産ですが、野菜については、数量の確保や荷を集める流通機能の課題などにより、使用がごく一部であるのが現状です。

このため、農業生産者団体、学校栄養士等の関係者の方々と組織する協議会を立ち上げ、学校給食に新鮮で安全な地場農産物を積極



▲鳥獣被害の防止策として設置されている柵頭の電柵

● 一般質問 ●



▲ 3月より無人化となった駿河小山駅の改札口



込山恒広

**Q** 駿河小山駅無人化について

町長の政治姿勢を問う

**A** 観光情報の発信や特産物品の販売など

利便性の向上を図っていきます

無人駅の指定は、鉄道利用者の減少等の理由で駿河小山駅に限らず全国的な傾向であります。

しかし、いくつかの無人駅では、自治体や地域住民が店舗に利用したり、ボランティア駅長を置く等の地域振興策として活用されている例があります。駿河小山駅は無人駅になったとはいえ、まだ一日約600人の利用者があります。この際、良い機会でもありますので駅舎活用により地域の活性化に取り組むことが良策かと考えます。

**Q** 無人駅になってから6月17日で3か月が経過します。駅舎活用について具体的な実行施策として、どのような計画がありますか。

**A** 町長 JR東海に確認したところ、特急あさぎの発着時や繁忙期には、車掌や御殿場駅から職員を派遣し安定運行を図っており、運行に支障はないと確認しています。駅舎の利用については、簡易委託販売なども検討しましたが、費用対効果がいまいちです。観光客が小さいことから、観光案内所を利用して待合機能の充実、観光情報の発信や特産品の販売など駅利用者への利便性の向上を図っていきます。

また、今後の駅舎の利用方法につきましては、商工会をはじめ地域のみなさまの御意見をいただきながら、希望に応じ積極的に支援していきます。

**Q** 駅舎が悪のたまり場にならない安全安心、そして駅舎からの街づくりの発信基地としての対応はどのように考えていますか。

**A** 町長 次に安全の確保対策については、JRに確認したところ、無人駅化後の事件事故についてはないとの報告を受けています。しかし、JR御殿場線は、公共交通として住民生活と密着している重要な路線であることから、駅舎利用の安全の確保等については、御殿場警察署にパトロールの強化等を要請し、地域住民の御協力による見守りを強化するなど防犯対策に積極的に取り組んでいきます。

● 一般質問 ●



桜井 光一

Q 県立高等学校長期計画への対応は

A 小山高校の存続について関係機関に

積極的に働きかけたいと考えています

Q 静岡県立高等学校 第2次長期計画は、平成27年度までを計画期間として策定され、その中で再編整備計画等の主な基本方向が示され、再編整備がなされてきました。

小山高校は平成23年度の新1年生から4クラスとなり、クラス数が削減されました。第2次長期計画が平成27年度を目途としていることから少子化のなか平成28年度以降の計画が策定されてもおかしくない状況にあると考えます。

町として何らかの対応、例えば中高一貫教育や特色あるカリキュラムなどを働きかけなければ、小山高校の存続が危ぶまれると思

われるが、町としてどのように考えているのか伺います。

A 町長 県の考え

方では、小山高校が中高一貫校の設置対象校とはならないものと考えています。

しかし、町にとって、地域の人材育成を図るため、小山高校の存在はなくてはならないものであり、定員確保のため、生徒の通学時の支援など様々な事業を実施しています。

小山高校との連携を大切にするとともに、長期計画策定の動向を注視しながら小山高校の存続について関係機関に積極的に働きかけたいと考えております。

Q 小山球場に照明施設を設置する考えはあるか伺います。諸問題があれば、調査等準備期間を設け、前向きに進めていただきたい。

A 町長 球場への

照明施設の設置については、周辺の耕作等への影響や昨年度、多目的広場の道路側に設置しましたホタルの里への影響も考慮して対策を講じる必要があるかと考えます。

また、照明施設は、設置費およびその後の維持管理費が大きく、環境保全と現在の財政状況を考えますと早期の実施は困難でありますことを御理解願いたいと思



▲ 県立小山高等学校の登校風景

● 一般質問 ●



▲ 鮎沢川へ注がれている豊富な水（小山町菅沼地先）



渡辺悦郎

**Q** 自然環境、特に水資源を  
守るための条例制定の推進を

**A** 自然環境の保全の観点と経済効果との  
バランスを考え、条例化を慎重に検討します

小山町には富士山水系、北山（丹沢）水系、箱根水系があり、この水系で育まれた自然環境は小山町の貴重な財産でもあり資源でもあります。

**Q** 現状を踏まえた「水資源保護のため」の条例化を進めようか。

**A** 町長 本町は、地下水が豊かであり、自然との共生は重要と考えます。このため、土地利用指導要綱に基づき揚水設備設置に関する基準を設けたり、湧水量調査や水質検査など環境保全に努めています。本町の水資源は、企業誘致する際の重要な資源でもあります。また、新東名の一部供用開

始に伴い、企業誘致も必要と考えますので、自然環境の保全の観点と経済効果とのバランスを考えると、条例化については、今後慎重に検討していきます。

**Q** 東日本大震災以降、各種想定の見直しや小山・御殿場地域の活断層に関する報道があり、断層に関する見直しも不安材料となっています。当局は防災計画の見直しを行い、6月3日に土砂災害訓練を住民、自主防災会、消防、警察、自衛隊との連携訓練で実施し、成果を得たと思えます。町民や観光客の不安を取り除き安心して訪れることが活性化に繋がると思えます。防災計画

等を進捗状況について伺います。

**A** 町長 現在の町域防災計画は、平成13年に国県が策定した第3次地震被害想定を根拠に策定しており、今年5月の防災会議で町の機構改革や東日本大震災の教訓から震災調査班や物資班の新設等災害対策本部の組織改組について修正しました。国県は第4次地震被害想定の見直しに着手しており、平成24年度末までに結果を公表する予定です。町ではアータ公表後に修正のための検討を開始し、平成25年5月末頃には防災会議に諮問し、住民の皆様と説明・配布したいと考えています。

等を進捗状況について伺います。

● 一般質問 ●



湯山 鉄夫

Q 新東名高速道路の進捗状況と今後の実施計画は

A 新東名高速道路の道路、水路等の設計

協議確認書の締結が取り交わされています

静岡県内を横断する新東名高速道路が三ヶ日JCTから御殿場JCTの間16.2kmが完成し、本年4月14日開業となりました。今後は我が小山町の北部を通過し、神奈川県に通ずる諸計画が推進されます。

Q 御殿場IC、小山PAの建設に伴う国道、県道、町道が相互に接続し交差しています。新東名高速道路に計画されている道路の態様と状況について。

A 町長 中日本高速道路株式会社と小山町通過10地区において、昨年度までに新東

名高速道路の建設に伴う道路・水路等について設計協議確認書の締結がすでに取り交わされています。

Q 新東名高速道路により分断される町道については、道路区域の変更や新たな町道認定を行うことになり

ます。時期は、新東名高速道路の事業完了後の予定です。

A 町長 平成32年 供用開始予定の新東名高速道路小山

パーキングエリアを、地域産業の活性化を担う施設と位置づけ、農業においては、農産物の生産拡大や付加価値の高い特産品の開発、林業においては、周辺から集積される原木や、製材品の流通拠点の施設整備等に取り組みます。

また、小山パーキングエリアに設置予定のスマートフォンを起点とし、町内各店への利用者流入の促進や湯船原地区を中心とした企業立地に取り組みます。

Q 高速道路やパーキングエリア利用者の消費傾向を的確に把握し、アピール性に富んだ地場産品の開発に取り組みます。



▲新東名高速道路の路線通過箇所となる大御神地先

● 一般質問 ●



▲ 道の駅「すばりり」の足湯



廣嶋 邦彦

**Q** 温泉管布設事業の経過説明を

**A** 企業側の諸事情もありますが、今後温泉供給のお願いをしていきます

**Q** ① 温泉導入計画が、道の駅が営業して1年以上経っても、未だ道の駅に温泉が引かれたという話は聞いていません。

**A** ① 温泉導入計画が、道の駅が営業して1年以上経っても、未だ道の駅に温泉が引かれたという話は聞いていません。

**Q** ② 今後の見通しと実施計画について伺う。

**A** ① 温泉導入計画が、道の駅が営業して1年以上経っても、未だ道の駅に温泉が引かれたという話は聞いていません。

**Q** ② 今後の計画や見通しについて当局の考え方を伺う。

12

## ● 町制100周年 ●

# 町制100周年記念事業 田んぼアート



池谷 弘

赤米は青森県産業技術センターの御好意により特別に購入することができました。

圃場は多くの人に

道の駅「ふじおやま」の北側に田んぼアートが出現しました。小山町制100周年を記念して、小山町をPRするために小山町と100周年ロゴ及び富士山をイメージした図となっています。

3月に小山町議会議員全員の総意で田んぼアートをを行うことを決定しました。

自分たちで考えた数種の図案の中から、私たち議員の技術力をも考慮して、この図としました。

作業は安価に行うため、お飾り用の黒米と緑米を提供してもらい、議員有志で脱穀しました。

見てもうらため、田沢の道の駅周辺として、幸いにも田沢の常盤十四雄氏の御厚意により道の駅北側の田んぼに植える許可を頂き、水田は常盤氏に管理して頂けることとなり大変感謝しております。

4月15日に種蒔きを実施し、順調に生育した苗を5月14日に議員有志ですでに「あきまさり」の田植えが実施された田に図案を基にテープを張り、翌日「小山町農業委員会」「小山町認定農業者協議会」の皆さんと30名余で田植えを実施しました。

初めて田植えをする議員もいて、雨の中和気藹々で田植え作業を行いました。

トの取り付け等も議員有志で行っています。この場所がわかるように道の駅に貼る「田んぼアート案内図」を作成中です。

見て頂くために、土手の草刈や観覧場所にシ



▲ 田んぼアート デザイン原案



▲ 田植えが終わった後の記念撮影

現在「小山町のホームページ」に毎週生育状況を載せていますので、是非ご覧ください。

「田んぼアート」は、はつきり見えてきており、

10月初旬まで楽しむことができます。

私たち議員一同は、小山町の活性化に少しでも役立っていきたいと考えています。

● こども議会 ●

# 町制施行100周年記念事業 「小山町こども議会」が開催されました！

町制施行100周年を記念し、小山町こども議会を7月13日に開催しました。こども議長とこども議員、計11人で構成し、こども議員10人からの一般質問に対して、当局から回答がありました。

こども議員のお名前は、次のとおりです。

- こども議長  
須走小学校 國友 晴香
- こども議員  
成美小学校 久米 汐里  
日比野 史明  
明倫小学校 小野 滉介  
中田 杏音  
足柄小学校 相 夏海  
今野 嘉人  
北郷小学校 池谷 直規  
遠藤 さくら  
須走小学校 酒寄 奈緒子  
望月 康生



今野 嘉人

**Q**

**地域の方たちとの交流を深める活動について**

8年生では、学級活動を行い、地域の方との交流を深めたいという願いが出されました。小山町では現在地域交流のための様々なイベントが実施されています。しかし、小、中、高校生が一緒に楽しめるイベントや子供とお年寄りの方が交流できるイベントなど、小山町のみんなが参加しやすい、新たな活動をしたいと考えました。今後考えて

**A**

いるイベントについて教えてください。

高齢者とのハイキングについては、11月ごろ町の史跡や文化財を巡るウォーキングを計画しています。また、小山町制100周年を記念して、町民体育大会、100周年記念ソングを歌う千人合唱や生涯学習フェスティバルなど交流を深める行事を計画しています。さらに、使われていない農地を活用し、さつまいも作りやお米作りなど、地域の高齢者と、農作業を通じた交流が行われています。今後、人と人が交流を深めることができる行事を計画していきますので、ぜひ参加してください。

**Q**

**河川のごみの対策について**

小山町の水はとてもきれいで有名ですが、最近、川の水がともよこれているように感じます。川のごみへの対策として、どんなことをがんばって調べていますか。



池谷 直規

**A**

川のごみ対策としては、まず、町民の皆さんにごみを周辺に捨てないというのをPRしています。また、川の水をきれいにするために、合併処理浄化槽設置の補助金を出しています。これらの取り組みは、ごみの不法投棄の防止、水質の保全に効果があるものと考えています。

しかし、残念なことに、ごみが捨てられることがありますので、さらにごみを捨けないようにPRしていきます。



議員控室にて（集合時）

## こども議会



望月 康生

校のすべての建物について、耐震基準を満たされるようにしています。小学校校舎は、現在の耐震基準に

Q

学校施設の耐震性について

最近大きな地震が多く、家がこわれてしまう映像をよく見ます。学校の校舎も古くなっていることが多く、耐震性が心配です。町の方では、なにか対策はとっていますか。

A

昭和56年6月より前に建てられた校舎などは、平成18年度から耐震補強工事を順次実施し、町内の小中学

より建築されているため、耐震補強をする必要はありません。今後は、計画的に修繕などを行い、皆さんが安心して学校生活を送ることができるようになります。



稲 夏海

Q

足柄の暗い所に街灯をつけることについて

6年生では、学級活動を行い、足柄のまちに街灯をつけてほしいという話が出ました。冬には4時30分頃に暗くなってしまつてころもあります。しかし街灯が



真田議長のあいさつ

A

少ないので、歩くのがとても不安です。ぜひ足柄のまちに街灯をつけて明るく安全なまちにしてください。

街灯は、皆さんが交通事故や犯罪に遭わないように、見通しの悪い交差点やカーブ、あるいは暗い所などに付けています。付ける場所によって、町や地域で付けています。地域の皆さんから防犯灯の要望がありましたら、現地を確認し、区長さんたちとも相談したうえで、まわりの環境のことも考えなが



選任書の交付を受けるこども議員

Q

2年前の台風後の対策について

2年前に台風がありましたが、家がこわれたり、木がたおれたり、とても大変なことになったと思います。その対策は、どんなことをしているのですか。また、お金等は大丈夫でしょうか。



遠藤 さくら

A

平成22年の台風9号では、294箇所が壊れ、被害額は約65億円でした。被害箇所は、元に直すことが決まっております。同じ災害が起きない様に、復旧工事を最優先に行っています。期間は3年以内を目標にし、現在、約80%程度が終了しています。

工事は、国の補助金と税金などで行なっています。家に水が入った方々へは、県と町よりお見舞い金、義援金等をお渡ししました。



込山町長のあいさつ

● こども議会 ●



集合写真（町三役、町議会議員、こども議員）



こども議長  
國友 晴香



こども議員の質問に答弁する商工観光課長



真田議長より記念品の授与

秋には「足柄峠苗まつり」、「産業祭」、「文化祭」、また、元日には「足柄峠DE初日の出」など一年を通してお祭りが行われています。そのため、「金太郎秋・冬まつり」を新たに開催する予定はありませんが、現

**A** 春と夏に行われる金太郎まつりは、昨年「富士山金太郎まつり」に名前を改め町には欠かせないお祭りとなっています。

**Q** 金太郎まつりについて



久米 汐里

に行われているお祭りを更に工夫したいと考えています。



小山町の成り立ちの研修  
（金子学芸員による説明）

**Q**

川前に公園を

川前にたくさんのお家が建ちました。小さい子もいますが、公園がありません。安全に遊べる公共の公園をぜひ作ってほしいと思うのですが、どうでしょうか。



日比野 史明

**A** 新たに公園を作るためには用地が必要ですが、川前住宅には残念ながら、皆さんの遊び遊べる公園をつくる場所がありません。川前住宅の近くでは駿河小山幼稚園の横に小山公園、成美小学校の横に豊門公園があり、健康福祉会館の前のイベント広場やふれあいルーム、成美小学校の校庭も使用できますので、安全な公園などの中で、思いっきり遊んで欲しいと思います。

## こども議会



小野 澁介  
計画をつくり、その中で、通学路の整備を進めています。

### Q 通学路の安全について

①通学路の安全確保について、小山町ではどのような考えがあるのか。

②浜松で取り組まれている「ゾーン30」「グリーンベルト」を小山町に取り入れてもらえないか。

A 通学路の安全確保について、どのような考えがあるのかは、交通安全に関するいろいろな事業などを定めた第9次交通安全

ンベルトを取り入れてもらえないかについては、ゾーン30の整備箇所を今後、警察、地区等と話し合って決めていきます。  
また、グリーンベルトは、要望があったとき、道路の管理者と話し合い、必要であれば設置します。



酒寄 奈緒子

### Q 富士山ふん火の対さくについて

A テレビなどでも耳にする「富士山のふん火」なかに「富士山がふん火したら、小山町はもうだめだ。」などと言っている人もいます。



議場でのリハーサル状況  
元気よく手を挙げるこども議員

もしもの事を考えて、富士山のふん火についてどのような対策をとっていますか。また、どのように考えていますか。

### A

小山町では、平成16年に富士山火山防災マップを作り、町内の全ての家庭に配布し、今でも、小山町に転入する時に希望する方には配布しています。平成18年からは、富士山の噴火に備えて、富士山を取り巻く山梨県と静岡県の15市町村で、連絡や訓練をしています。



戸枝教育長あいさつ

また、万が一噴火した場合に備え、町では避難場所、避難に使用する道路などを具体的に示した計画を学区ごとにつけていきます。



中田 杏音

### Q 商業に対する小山町の考え

①小山町の商業でウリにしているものは何か。

②今後、特産品などとして出していく品はあるのか。

③小山町に大型の店がないのはなぜか。また、そういったものをつくる計画はないのか。

### A

①「ふじおやま」と「すばしり」の道の駅を活用し、小山町の農産物他商品をPRしています。

②水かけ菜、わさび、こしひかり等の特産物や、商工会が認定している「おやまブランド」も30品目ほどあります。今後も新しい特産物の開発に力を入れていきます。

③今のところ大きなお店が出店する計画はありませんが、色々な事業を通して便利にお買物ができるまちづくりを進めています。



こども議会終了後の議員との懇談状況

# 一私の望み一

No.4



伊藤 駿 (須走小6年)

## 小山町を元気に

僕は運動するのが大好きです。中でも走る事が大好きです。

小山町は昨年12月の市町対抗駅伝で町の部3位という好成绩でした。今年、来年も好成绩をとれるように小山町にも陸上クラブを作って、町の部で1位はもちろん総合で1位をとれるようにしてほしいです。

僕は毎年町の球ぎ大会に出場しています。みんなと練習をしたいのですが、ぼくの住んでいる東京ではボールを使って遊ぶことはできません。須走でもボールで遊べる所は学校が道の駅くらいなので、東京の近くにあるなかよし公園で、ボール遊びができるようにしてほしいです。

そして小山町は野鳥で有名です。その野鳥で有名なことを生かし、野鳥ガイドをする人や富士箱根トレイルに野鳥のことを学べるかん板などをつけたり、小鳥の音楽どうの所に砂がいっぱいあるらしいので、音楽どうの砂をよせてもらって野鳥や生き物を生かした観光業をしてほしいです。

今富士山が世界文化いさんになるための活動を進めているので、富士山をアピールし、みんなとていい町だと思ってくれるように、小山町を元気にしてほしいです。

## 議員視察研修 — 神奈川県大磯町議会改革の状況 —

大磯町は海岸沿いの暖流の影響で温暖な気候、風光明媚な住宅地として脚光を浴び、伊藤博文初代総理や吉田茂元総理らも当地で暮らしたことで有名な町。

大磯町議会では、町民の代表機関として執行機関が行なう事務を評価及び監視するに当たり、その立案、決定、執行等における論点及び争点を明確にするために、平成21年11月に議会基本条例を

制定した。また、積極的に町民へ情報発信をすることによって、町民と協働の町づくりを推進し、議会の意思決定における説明責任を果たすと共に、議会として公正で透明、開かれた議会を構築するため、議会運営の基本事項を定め、議会の役割と活動の指針を明確にすべく、条例を制定したとのことでした。

この条例の中にも挙げられていますが、町民と議会の関係について、町民と議員とが自由に意見及び情報を交換するために、一般会議を開催することができることが明記されている。昨年度は3回開催され、55名の参加者があったとのこと。1回平均20名弱の参加者となる。この数を多くとみるか、少ないとみるかは各自判断の分かれるところだろう。しかし、長期間やってくる住民と議員との信頼関係が築かれてくるとの発言には、何か動まされたような気持ちになった。



今後、議会改革についてもっと研究、研修を重ね、議会本来の役割を果たすため、議会改革の取り組みを研究する必要を強く感じた一日であった。(記 廣岡邦彦)

### 皆さんの声を募集しています!

町づくりや子どもの教育のことなど、どんなことでも結構です。あなたの住所、氏名、電話番号を明記してメール、ファックスやお手紙で気軽にお寄せください。

ご応募いただいた内容は、広聴委員会で選考し、ご本人に承認していただいたうえで「議会だより」に掲載することとします。

### 会議録の閲覧ができます

議会だよりは、紙面の都合により、議員や町長等の発言を要約して掲載しています。詳しく知りたい方は、図書館で閲覧できますので、ご覧ください。

なお、6月定例会の会議録は、8月下旬から閲覧できる予定です。

議会だよりは、町のホームページに掲載していますので、ご覧ください。

小山町のホームページ <http://www.fuji-oyama.jp>

議会へのメールアドレス [gikai@fuji-oyama.jp](mailto:gikai@fuji-oyama.jp)

## 編集後記

我が町の100年前の頃は、大正9年関東大震災の被害の復旧も進んで東海道本線(小山駅)には蒸気機関車による急行や特急列車が行き交っていたという。100年の歴史には大東亜戦争や世の浮き沈み、時代の変遷と共に多くの苦難を乗り越えたのが現在であります。私達は我が町を守り支えてきた多くの先人、先駆者には感謝と敬意がなければなりません。本年は町制100周年を祝して色々な記念事業が企画されました。私達議員も(田んぼアート)(こども議会)をはじめ、それぞれの行事イベントに参加しています。これから先、100年の町を描き進めるには、現在の町民一人一人が将来のまちづくりの礎を築くことあります。100年後はどんな町になっているでしょうか、想像してみてもは如何でしょうか。(記 湯山鉄夫)

- 編集委員)
  - 委員長 廣岡 邦彦
  - 副委員長 高畑 博行
  - 委員 湯山 鉄夫
  - 委員 渡辺 悦郎
  - 委員 阿部 司

